

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻			
科目名称[英語名称]	菜園芸学特別演習 I [Special training on vegetable horticultural science]				授業形態	集中講義		
科目コード	610800	単位数	2	配当学年	2	実務経験教員担当	アクティブ ラーニング	○
教員氏名	陳 蘭庄							
授業概要	<p>菜園芸学特論 I と II では、野菜を学問として取り上げ、さらに科学的な角度から解析し、野菜の栽培や育種にまつわる最新の総括や仮説をはじめ、最新のバイオテクノロジーを用いたメカニズムの解明、有用遺伝子のクローニング及びその機能解析などについて、重要な学術論文を引用しながら解説することを目的としている。この講義の内容は、これまで本研究室で実際に行ってきた研究内容なので、これまでに得られた研究成果を発表してきた学会要旨や学術論文を交えながら、グループ討議や、実験の現場で操作の手本を見せたり、スキルを覚えさせたりすることを行う。</p>							
関連する科目	菜園芸学特論IとIIを履修すると同時に学習することを勧める。							
授業の進め方と方法	パワーポイントや学術論文等を使って、一緒に議論する形で、受講生にも受動的ではなく、頭を動かして教員との双方向授業を行う。							
授業計画	菜園芸学特別演習Iでは、以下の内容で行う。							
	第1回～第4回 組織培養系を用いた遺伝子組み換え実験系論文の書き方について；							
	第5回～第8回 細胞学的または形態学的手法を用いた実験系の書き方について；							
	第9回～第12回 選抜育種や伝統的な育種手法を用いた育種実験系の書き方について；							
	第13回～第15回 まとめおよびレポート作成指導；							
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 専門分野に関する知識・技能と教養					○		
	2. 人間力、社会力、国際性の涵養					○		
授業の到達目標	講義で解説したそれぞれの課題を例にして、履修生自身が自分の研究に対して、研究計画の立案、材料および方法、データのまとめ、図表の作成、結果に対する考察・評価など、研究論文の書き方に関した一連のノウハウを活用して自分の修士論文のシミュレーションをレポートとして作成できることを目標とする。							
授業時間外の学修	<p>事前に配った資料やプリント、指定した教科書または参考書、本授業とかかわりのある新聞記事や科学雑誌等をもって、予習すること。また、授業の内容について、分かったことやわからなかったことをはっきりさせ、配られた資料やノートを再点検してわからなかったことを自ら解決する。それでもわからない場合、図書館にて関連図書を調べたりインターネットを使ったりして解けるようにする。どうしてもわからない時は、先生に直接聞いてみる。わからなかったことを貯めることなく、すぐに解決することを勧める。事前事後合わせて1時間程度が必要である。</p>							
課題に対するフィードバック	基本的にその都度、指導を行う。それで解決できない問題については、参考になる文献等を読ませて次の授業の中で回答してもらう。							
評価方法・基準	授業への取り組み姿勢と理解度(40%)、最終レポートの完成度(60%)を総合的に評価する。							
テキスト	特になし。							
参考書	随時、引用論文を配る。							
備考								